

株北斗 ホームページ

What's new

2016. 3.7 『労働災害』『インフルエンザ対策』について
安全講習を行いました。

◎労働災害について

安全は一人ひとりが責任者 不安全行動は許さない！

☆労働災害発生の必然性

- ・労働災害は予測できるのに何故防げないのか？防げないのではなく防がないからです。災害となる要因を放置し、予兆(ヒヤリハット等)を無視し、偶然の災害ゼロの上に胡坐をかけば、いつか必ず災害は発生します。これを未然防止する手段として、過去の労働災害事例が頭にあるか無いかが大きく影響します。

☆災害事例・ヒヤリハットの見方

- ・災害事例・ヒヤリハット事案のうち、自分の現場にあてはめ、同様な災害事例を活用すれば成長と進歩の糧になります。しかし一歩間違えれば重大災害に直結したであろう事例を『あーよかった』で済ますことは絶対に許されません。災害事例・ヒヤリハットをマイナス思考ではなく、プラス思考に転化させて下さい。

☆現場の危険回避

- ・現場の危険回避は日々の作業の進捗状況により変化し朝礼などで当日の作業手順と共に告知、確認、周知される。

◎地山・盛土の始業前点検

現場の状況により様々ですが特に降雨時、降雨後の点検は重点的に行うことで地山や盛土の崩落災害より身を守ることができます。

◎安全パトロール

- ・安全パトロールを実施することで、作業内容や作業環境を把握でき、現場の危険箇所等の指摘事項をユーザーとの打ち合わせによって周知することで、未然に事故を防ぐことにつながります。
- ・定期的を実施することで、安全意識への緩和を防止することに繋がります。

◎インフルエンザ対策について

☆予防接種について

- ・インフルエンザワクチンの接種を受けると、ある程度の予防効果が期待でき、症状が重くなることを阻止する効果があります。また、昨年接種しても、毎年流行するウイルスは異なるので毎年インフルエンザワクチンの接種を受けたほうが良いと考えられます。

☆インフルエンザにかかった場合

- ・具合が悪ければ早めに医療機関で受診しましょう。
- ・安静にして休養をとりましょう。特に睡眠を十分にとることが大切です。
- ・水分も十分に補給しましょう。お茶でもスープでも大丈夫です。
- ・咳・くしゃみ等の症状がある場合は周りにうつさない為に、不織布製マスクを着用しましょう。
- ・人混みや繁華街への外出を控え、無理して現場等には行かないようにしましょう。